

## 今シーズンのインフルエンザの状況

2019年3月1日

(2月10日までの報告です。)

	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0	2	1	11	29	50	157	510	451	492	401	293	171	129	64	2761	
インフルエンザB	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	3	3	1	0	0	2	0	15
臨床診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	8	12	34	49	29	27	21	4	12	2	201
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総診断数	0	0	1	0	0	0	0	6	1	12	31	59	169	544	503	524	429	314	175	143	66	2977

3月1日までの報告のまとめです。20の医療機関より2977例の報告がありました。2週になり3学期が始まり、小児の報告が増えて、インフルエンザAの地域での流行が始まりました。2週から4週にかけて報告数のピークがあり、5週よりは大きく減少しています。臨床診断はほぼインフルエンザAです。

右下のグラフの様に、インフルエンザBは隔年で流行しており、今シーズンはインフルエンザBの報告数は15例と少なく、散発例の報告はあっても、地域内の大きな流行になっていません。このまま、インフルエンザAの流行のみで終息していくものと予想しています。

2月までの岡山県のインフルエンザウイルス検出状況は、AH1pdm 13例 AH3 12例 B(山形系統)2例 と報告されています。

インフルエンザAに2回り患した症例も報告されました。総社市での流行株はAH1pdmだったと予想しています。咳から始まりその後発熱が続くという症例が多く、全体に軽症でワクチンの効果もあったように個人的には感じています。

3月1日までの教育委員会からの報告は1012人で、例年に1500人前後の報告があるので、比較すると少ないです。

以前に比べて、感染予防対策への理解も高まり、体調不良の場合は無理をせず休むことに抵抗が少なくなりました。

マスクの着用、手洗い、タオルの共有やコップの回し飲みは避けるなど、感染予防に努めて下さい。

中学校	1873	188	10.0%
小学校	4,042	650	16.1%
幼稚園	854	137	16.0%
こども園	153	37	24.2%
合計	6,922	1,012	14.6%

